

優しい表情で赤ちゃん  
と触れ合う児童ら



## 赤ちゃん抱っこ 命の大切さ学ぶ

三朝・東小

H.24 7. 三朝町余戸の東小学校（中前雄一郎校長）で5日、児童と乳児、乳児の母親とが一堂に集う「赤ちゃんふれあい会」があり、5年生4人が赤ちゃんを抱っこするなどしてぬくもりを肌で感じ、命の大切さなどを学んだ。

事前学習で助産師から赤ちゃんについて学んでいた児童たち。こ

とし第1回のふれあい会では、学校医を務めるまつだ小児科医院（倉吉市）の松田隆院長から注意点などを聞き、人形を使って抱き方を練習した後、母親に連れられてきた町内の生後4カ月の赤ちゃん2人と対面した。

児童たちはお母さんに子育ての喜びや苦勞を聞いてから、寝かされていた赤ちゃんを抱っこ。やさしい表情で赤ちゃんに話し掛け、赤ちゃんと話し掛け、むずかる赤ちゃんを音の出るおもちゃを振ってあやした。身近に赤ちゃんがいる児童もおり、おむつ交換を手伝う姿も見られた。

初めて赤ちゃんを抱いたという藤村陸君は「重たいけど、柔らかかくてとても温かかった」と笑顔で話していた。（前田雅博）